

サポートセンターかがやき 職員向けアンケート

令和2年度

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制整備について	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> 指導訓練室、職員の配置等については、基準を満たしている。支援の充実のため、スタッフの増員も必要と考えている。 朝・夕の清掃や、子供の状態に合わせた環境作りを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか		<input type="radio"/>		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子供達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	5	業務改善を進めるための、PDACサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の機会が減ってきている。WEB研修会などを積極的に取り入れていきたいと考えている。
	6	保護者向け自己評価表及び保護者向け評価表を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	<input type="radio"/>			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者との話し合いを行い、家での様子・園での様子・老育現場での様子を踏まえ、胃炎計画の設定を行っている。 必要に応じてケース検討を行い、目標設定や支援方法の検討を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
15	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	<input type="radio"/>				

適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 療育開始前（午前・午後）に、打ち合わせを行い、留意点などの確認し、支援を行っている。 記録の時間に、今日の支援の良い点、注意点などを話し合い次の療育につなげていけるようにしている。 必要に応じて保護者の方と意見交換を行い、半年ごとに見直しを行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所、保健師等、各関係機関と随時連絡を取り合い、利用児の情報交換等を行い情報の共有と理解に努めている。 移行支援シートの作成を行い、情報提供を行い、利用児がスムーズに移行できるように努めている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼児部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 療育中の交流はないが、きょうだい児なども来所しており、その場面での交流はある。 その日の様子を家族に伝えて、利用児の発達や状況について共通理解が持てるようにしている。 プログラムは実施していない。 今年度については、コロナ対策のため、保護者の勉強会（懇親会）も実施できていない。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか		○		
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議棟へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 契約時に説明を行い、同意を得ている。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 見学や契約時のアセスメントを踏まえ、支援計画の作成を行い、程者に説明を行い同意を得て支援を行っている。

保護者への説明責任等	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年、年2回の懇親会と年1回の交流会を行っていたが、今年度はコロナ対策のため中止した。来年度は、やり方を工夫し実施できるようにしたい。 ・ 保護者からの依頼がある時等には、その都度情報の提供や相談などを行い対応している。 ・ 1年の様子を個人のファイルにしてお渡ししている。 ・ 同グループの事業所と合同で年1回実施していたが、コロナ対策のため中止した。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者回等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応しているか	○			
	35	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	36	個人情報に十分注意しているか	○			
	37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練は、年2回行っている。 ・ 保護者に向けても、必要に応じて文書の配布などを行っている。 ・ 現在、利用児の中にはアレルギーの対応児はいないが、以前対応児が在籍していた時は、指示に基づいた対応ができていた。 ・ 事例について、その都度回覧、話し合いを行い、全職員が意識して支援に当たれるように配慮している。 ・ 虐待防止の研修などに参加して、事業所内でも、ミーティングなどで勉強会を行っている。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施しているか	○			
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	42	植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	○			

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用児のその日の状態を配慮し、パーティション等で仕切りを作り、刺激を遮断するようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・必要に応じてケース会議などを行い、業務改善に取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年1回保護者に向けてアンケートを実施し、結果をふまえ改善や検討を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・WEB研修会等、できる範囲で参加の機会を設けている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・色々な経験ができるように、1か月の予定を話し合い、予定を家庭配布し知らせている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・学年に応じた対応を心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援前に、打ち合わせをし確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、振り返りを行い次の支援につなげられるように努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年ごとにモニタリングで保護者との意見交換を行い、支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・送迎等については、連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、対象児が在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・今年度から開始した事業で、まだ移行する事はないが、移行する場合は情報提供をしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・療育時間内での交流は難しいが、交流する機会があればしたいと考えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・必要な会には出席をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送迎時、電話などで、連絡を取り確認を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングは行っていないが、お迎えの際などで助言は行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今年度は、コロナ対策のため懇親会や行事中止となったが、毎年行っている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・活動概要や行事予定は、毎月知らせているが、会報は発行していない。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・同法人の事業所と一緒に年1回行っているが、今年度はコロナ対策のため開催していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回、実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・現在、対象となる利用児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・現在、対象となる利用児はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・気づいた点をヒヤリハットに記入し、事業所内で共有を行っている。